

平成26年度第1回千葉市廃棄物減量等推進審議会における主な意見・要望と対応

日時：平成26年8月5日（火）10：00～11：36

場所：千葉市総合保健医療センター 5階 大会議室

1 平成26年度第1回千葉市廃棄物減量等推進審議会 議題

- (1) 会長の選任
- (2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について（報告）
 - ア 平成25年度に実施した主な取り組みと計画目標の進捗状況について
 - イ 平成26年度焼却ごみ削減目標及び重点的に取り組む事業について
 - ウ 平成26年度に実施する主な取り組みと計画目標について
- (3) その他

2 主な意見・要望と対応

(1) 不適正排出の対応について

意見・要望	対応
ごみステーションのルール違反のごみの取り残しは自治会の負担になっているので、このルールの見直しを検討してほしい。【森山委員】	指定ごみ袋を使わずに排出された可燃ごみ・不燃ごみについては、排出された方にルール違反内容をお伝えし、取り残されたごみを持ち帰っていただくことを目的として、収集できない理由を記したシールを貼付した上で、収集せず取り残している。しかしながら、排出された方が持ち帰らず、取り残しごみが道路交通の妨げとなっている場合や、公衆衛生上問題が生じている場合は、速やかに収集することとしている。また、これらの場合以外でも、翌収集日には全てのルール違反ごみを収集することとしており、今後も継続して、ごみステーションの清潔保持に支障が生じないように配慮する。

(2) 市民への周知・啓発について

意見・要望	対応
ごみの出し方については、「千葉市家庭ごみの減量と出し方ガイドブック」にわかりやすく書いてあることを周知してほしい。【森山委員】	市収集業務課ホームページや各種説明会などにおいて案内するとともに、廃棄物適正化推進員などを通じて周知を図る。
新しいルールの見直し（傘の出し方）について、しっかりと周知してほしい。【森山委員・伊藤委員】	町内自治会やマンション管理組合における周知用チラシの回覧（8月）、市政だより9月1日号への掲載、ごみステーションへの周知用チラシの掲示（11月）を行い、周知を図る。
若い世代への啓発を推進してほしい。【段木委員】	既存事業に加え、市内大学の横断的ごみ減量ボランティアグループ「ちばくりん」と連携した大学の学園祭等での啓発や中学校生徒会と連携した雑がみ分別収集隊など世代に応じた効果的な啓発を展開していく。

意見・要望	対応
ごみ分別スクールをずっと継続してほしい。【穴倉委員】	ごみ分別スクールは社会科の授業で環境学習が行われる市内全小学4年生を対象に、ごみの分別・減量の意識向上を目的に実施している。児童期におけるごみ分別や減量に対する意識付けは、児童を介して、家庭にも考え方を普及するものであり、継続して実施していくことで、大きな成果が期待できるため、引き続き実施していく。
布おむつの推進について、ホームページに掲載するだけでなく、他の通知の仕方を検討してほしい。また、出産する前の母親学級や父親学級などで、布おむつの使用方法について周知してほしい。【荒井委員】	布おむつの利用がごみ減量の観点からは有効であることから、関係部局とも調整しながら、周知啓発の方法について検討していく。

(3) リサイクルについて

意見・要望	対応
廃食油回収リサイクルはこれからも推進してほしい。【段木委員】	当初市内8カ所で開始した廃食油の回収拠点は現在13カ所で行われており、8月の1か月で約181リットルの食廃油を回収した。今後、市内の拠点数50カ所を目標に回収団体の拡充を図るとともに、廃食油のリサイクルについて市民意識の向上に努めていく。
地域住民が作った生ごみの堆肥を無料で引き取って、都市局などと連携し、千葉市の公園や花などに有効に使っているとPRすれば生ごみ減量に効果的であるから、検討してほしい。また、生ごみを乾燥させて回収するシステムをより一層推進してほしい。 【岩根委員・市原（秀）委員】	稲浜公民館（美浜区）の園芸サークルでは、公民館で発生する生ごみと家庭から持ち寄った乾燥生ごみをコンポストで堆肥化し、花壇に利用するなど生ごみの減量に取り組んでいる。こうした活動を広報紙「Go! Go! へらそうくん」にて紹介するとともに、活動団体の参加を呼びかけるなど普及・啓発及び支援に努める。また、乾燥生ごみを回収するシステムについて処理先や拠点回収等について調査・研究していく。さらに都市局では、新たな取り組みとして、市民が計画作成から整備・管理・運営を行う「手づくり公園」を推進しており、園内で作った堆肥を使って花を育てる取り組みがあるため、乾燥生ごみを利用することについて、連携しながら進めたいと考えている。

(4) 会議の運営について

意見・要望	対応
会議録の確認方法については、省資源化のためインターネットやメールで確認できるように検討してほしい。【荒井委員】	これまでは出席委員に郵送し、内容を確認していただいていたが、8月に開催した平成26年度第1回千葉市廃棄物減量等推進審議会会議録より、省資源化を図るため、メール送付を希望された委員には、メールで電子データを送付し、確認を依頼している。